

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2013年(平成25年)

3月22日(金)

発行所 琉球新報社
郵便番号 〒900-8525
那覇市天久905番地
©琉球新報社2013年

申請を立埋め古野辺

普天間移設

防衛局が県に 名護漁協の同意書添付

沖縄防衛局は22日午後3時50分、米軍普天間飛行場の名護市辺野古沖への移設に向けた公有水面埋め立て承認願書を県北部土木事務所に出した。願書には地元、名護漁業協同組合の同意書も添付した。県は申請書類に不備がなければ受理する意向。仲井真弘多知事は現地調査や周辺自治体の意見聴取などを経て、7カ月〜1年以内をめどに埋め立ての可否を判断するとみられる。

普天間飛行場の移設に

ない。

仲井真知事は「県内は不可能」として県外移設を求めており、県内41市町村長も県内移設に反対している。県内世論は辺野古移設への反対を強める中、安倍政権が移設を強行する姿勢を鮮明にしたことで、県内の反発が一層強まることは必至だ。県が埋め立てを承認する見通しは立っていない。

安倍首相は2月にオバマ米大統領と会談した際、今月中に辺野古沖の埋め立て申請をする意向を示していた。米側に安倍政権が普天間飛行場の移設を着実に進めているとの姿勢を示す必要があると判断した。



米軍普天間飛行場の移設先とされる名護市辺野古沿岸域。16日午後(日本テレビ取材機から撮影)



詳細はあすの紙面をお読みください